



虫除け剤を安全につかうためには・・・

温暖化の影響により、蚊が冬を越すことができるようになりました。それだけ蚊の生息数が増え、刺される機会も多くなっています。蚊が媒介する感染症には日本脳炎等があり、さされないようにする事、蚊の発生源となる水たまりを作らないことが重要です。野外で活動する場合は、長袖、長ズボンなどを着用し、虫除けスプレーなどを上手に安全に使いましょう。

* 市販の虫除けスプレーの種類

	商品名	成分	特徴
医薬品	ムヒの虫除けムジベールα	デイト12%	吸い込みにくいノンガススプレータイプ
	ムヒの虫除けムシベールPS	デイト12%	パウダーインでサラっとした使い心地
医薬部外品	ウナコーワ虫除け	デイト3.5%	特殊スポンジ容器で簡単にぬれる
	ウナコーワ虫除けスプレーS	デイト3.5%	ノンガスタイプスプレー様式
	キンカン虫よけスプレー	デイト7%	200mLの徳用タイプ。パウダーインでさらっとしている
	サラテクト	デイト10%	虫よけ効果は約10時間持続。飛び散り防止あり
	スキングード	デイト9.75%	飛び散りが少なくむせノンスプレー採用
	虫よけスプレーサラサラリ	デイト6%	サラっとした使用感。肌に残りにくい

* 使用上の注意

◎ 12歳未満の子供に使用する場合は、使用回数、使用方法を守りましょう！ (使用回数目安)

☆乳幼児に使用する場合は、手のひら、顔(特に目、口)を避ける。

☆乳児は、大人の手のひらで薄く延ばし、これを塗る。

<その他の注意点>

- ・飲んだり吸入したりしないよう注意が必要。
- ・子供同士で虫よけ剤を塗ったりスプレーしたりさせない。
- ・衣服へ塗る場合、内側(皮膚に直接触れる部分)へ塗布しない。
- ・長時間塗ったままにしない。子供で約4時間、大人で約8時間程度を目安とする。さらに長時間の使用が考えられる場合は、濃度の低いものを使用するか、薄く塗る方法をとる。
- ・帰宅後など、昆虫に接触する機会から離れた場合は速やかに石鹸などを使い、洗い落とす。
- ・虫よけ剤は子供の手の届かないところへ保管する。
- ・夏場など、日焼け止めと併用する場合は、日焼け止めを最初に塗りその上に虫よけ剤を塗る。

6ヶ月未満	使用しない
6ヶ月以上～2歳未満	1日1回
2歳以上～12歳未満	1日1～3回

* 成分のデイトとは(化学名:ジエチルトルアミドー昆虫忌避剤)

一般的に毒性は低いとされ、世界で広く使用されています。しかし 2005年8月厚労省より製品に含まれる濃度や小児に使用する上限量についての注意事項を明記するよう通達がありました。濃度が濃いほど長時間効くと言われてはいますが、使い方によりばらつきがでます。12歳未満に使用する際は、できれば濃度の薄いものの使用をお勧めします。

さらに安全に使用するためにも購入時には説明をうけましょう！

どこの病院・診療所の処方せんにも対応できます。

(お薬によっては時間がかかることがあります) あすなろ武川薬局

TEL 0551-26-3800

FAX 0551-26-3810